

心豊かに暮らすためにセカンドライフについて考えてみましょう!!

医療、福祉、介護分野での
看護職の人材不足を解消!

プラチナ ナース

熟練したスキルを持つ
定年退職看護職員
及び
近く定年・退職を迎える
看護職員



マッチング

- ナースセンターでの相談・支援
- セカンドキャリア研修
- ハローワークでの就職相談
- 施設見学のすすめ

求人施設

- 訪問看護ステーション
- 特養・老健等介護施設・
障がい者福祉施設
- 診療所



看護協会 ナースセンター

成果

1. 在宅医療分野における技術を持った看護職員の増加により、在宅医療現場における看護人材不足の解消及び在宅看護の質の向上
2. 地域で療養生活を送りたいという県民ニーズに対応
3. 就労意欲を持った看護職員の増加による看護職全体の就業人口の増加

「生涯現役で 働き続けるために」

介護付有料老人ホーム
副施設長 兼生活相談員
樋口 千代子



保健師(社会福祉士)として公務員生活を送り、この間に専門職及び事務職としての能力を習得することができました。この経験が第2・第3の職場で役立っています。第2の職場では長野県看護協会の副会長として過ごしました。第3の職場は資格を生かした働き方をしたいという気持ちがあり、介護付有料老人ホームで副施設長兼生活相談員を行っています。この施設の介護に対する考え方に共感し経験を役立てることができると考えたからです。とはいえ仕事の場面では毎日が学びの連続です。当面72歳を目標として、健康であれば75歳まで働きたいと思っています。退職前から退職後の事を考え学ぶことで、年齢に関係なく働ける仕事であると痛感しています。

「後輩から続ける力を もらって」

信州母子保健推進センター
保健師
白鳥 啓子



長野市を退職後、県が設置した信州母子保健推進センターに母子保健推進員として勤務し、産後(産婦)健診や子育て世代包括支援センター設置等の新たな課題に市町村保健師の皆と一緒に取組んでおります。また、新任期及び中堅期の保健師研修に関わらせていただき、後輩の新鮮な感性に触れ、元気をもらうことが現在の私の“続ける力”につながっています。当初は慣れぬ組織の中でドキドキのスタートでしたが、今では目的を共有する仲間や上司と出会い、前職の経験を活かす機会に恵まれたことに感謝しながら保健師活動実践中です。

「プラチナナース としてのやりがい」

看護師
永井 久子



私は医療現場で定年を迎えました。退職後は看護の原点に戻り、利用者の方々の側で働くことで自分の力を活かせるのではと考え、福祉分野で働くことにしました。福祉分野は利用者の方々の生活を支える場でもあります。そして看護の基礎を学び直すことが出来る場所です。経験を積んだ看護師が経験を活かし介護職と共に、利用者の方々にあった介護を行う事が出来ると思います。今は福祉の現場ではないところで看護師をしていますが、看護師としての経験を活かして、看護師の先輩や後輩が働き続けられるようサポートしています。私の看護師としての経験を活かせる職場での勤務は楽しいです。あと何年働き続けられるかは分かりませんが、もう少しだけ、自分が持っている全てを社会に貢献できたら嬉しいと思っています。

「自分らしい人生を 送るお手伝い」

訪問看護ステーション しらかば
看護師
横尾 榮子



定年退職後も、退職前の訪問看護ステーションで勤務を続けています。訪問看護は利用者の生活の場が仕事の場所です。利用者の方々に、住み慣れた思い出の詰まった自分の家で、自分らしい生活を送り、人生を送るお手伝いをするのが、訪問看護師の役目です。そのためにはこれまでの経験や人脈が役立ち、家族や主治医、地域の事業所の方々との協働がはかれます。そしてそのことにやりがいを感じています。訪問の道すがら出会う花々に、季節の移ろいを感じながら今日も又、利用者その人の人生を支えるために訪問しています。